

9 県際間取引

移輸出額は3兆4,594億円、移輸入額は3兆4,093億円で、501億円の移輸出超過となった。

移輸出額は3兆4,594億円で、平成27年に比べて5.8%減となった。県内生産額に対する移輸出額の割合（移輸出率）は38.7%で、平成27年に比べて0.9ポイント低下した。

また、移輸入額は3兆4,093億円で、平成27年に比べて3.5%増となった。県内需要に対する移輸入額の割合（移輸入率）は38.3%で、平成27年に比べて1.2ポイント上昇した。

この結果、令和2年の県際収支（移輸出－移輸入）は、501億円の移輸出超過となった。

産業別にみると、移輸出率は、製造業（83.1%）、鉱業（48.3%）、農林漁業（47.2%）において高く、移輸入率は、鉱業（96.8%）、製造業（78.2%）、商業（50.1）において高くなっている。金額で見ると、製造業が移輸出総額のうち81.7%、移輸入総額のうち60.5%を占めている。

また、移輸出率、移輸入率から産業特性を描いてみると（図2）、おおまかには製造業が相互流通型、鉱業が移輸入依存型、その他は県内自給型と区分される。

移輸出率

県内生産額に対する移輸出額の割合

移輸出率＝移輸出額／県内生産額

移輸入率

県内需要に対する移輸入額の割合

移輸入率＝移輸入額／県内需要額

図1 移輸出率・移輸入率

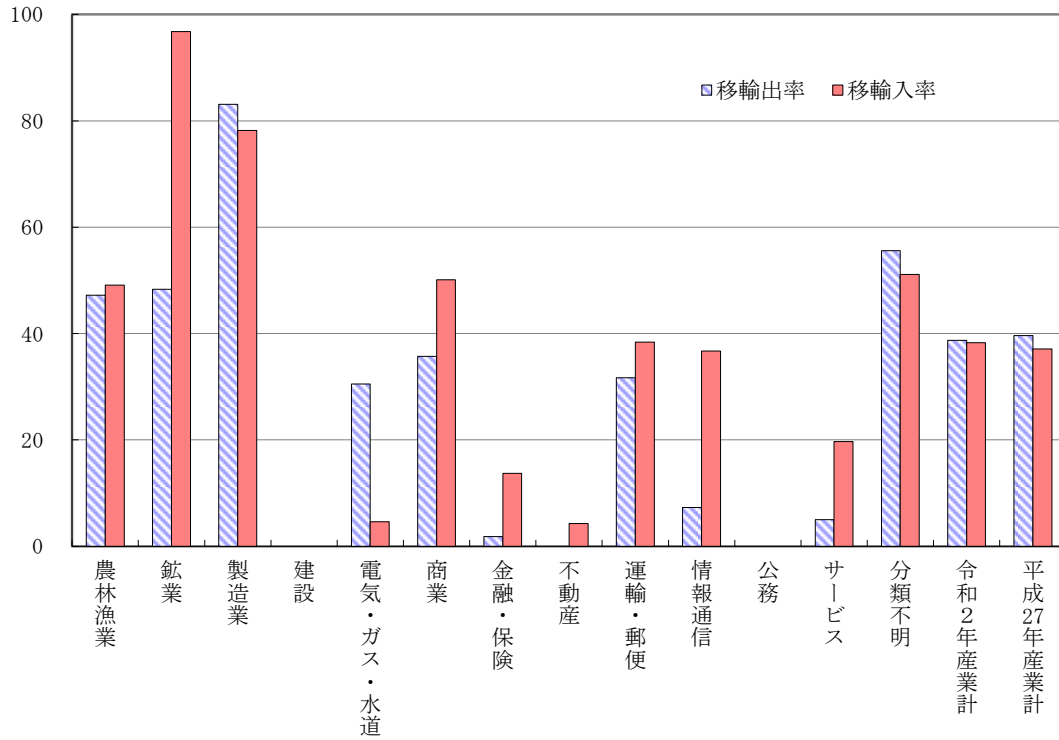


図2 県際取引からみた産業特性

